

法政大学

ひろせ かつや
廣瀬 克哉

法政大学 総長



田中優子前総長の任期満了に伴い、4月1日付で廣瀬克哉常務理事が総長に就任した。

1958年奈良県生まれ。1981年東京大学法学部第三類卒業。同大学大学院法学政治学研究科修士課程修了後、1987年同大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学、同年法学博士学位取得。1987年法政大学法学部助教授、1995年同教授、2014年法政大学常務理事(2017年より副学長を兼務した)。専門分野は行政学・公共政策学・地方自治で、主な著者に『自治体議会改革の固有性と普遍性』(2018年)法政大学

出版局(編著)。「議会改革白書」(2009年版〜2016年版)生活社(共編著)。

趣味は音楽。高校時代は文化祭のステージでギターを演奏。温厚で気さくな人柄のため学生から慕われている。本学は「自由を生き抜く実践知」という大学憲章を掲げている。「実践知」とはギリシャ哲学で「フロネシス」と言い、現実問題に直面しながらも、理想に向かって課題をひとつずつ解決するための知恵と知性である。この大学憲章を掲げ、大学に集う全ての人々とともに、教育と研究の理想を創造的に追求し、社会的責任を果たしていく。

立教大学

にしはら けんた
西原 廉太

立教大学 総長



4月1日付けで西原廉太教授が第22代総長に就任した。

西原新総長は1962年京都市生まれ。1987年京都大学工学部卒業。1995年立教大学大学院文学研究科修了。2013年博士(神学)(関西学院大学)。1998年立教大学に着任。助教授を経て、2007年教授。総長補佐(2007年〜2010年)、立教学院副院長(2008年〜2021年)、副総長(2010年〜2015年)、文学部長兼研究科委員長(2015年〜2017年、2019年〜2021年)を歴任。専門は、英国宗教改革神学・現代神学で、主著書に『聖公会の

職制論―エキュメニカル対話の視点から―(聖公会出版、2013年)、『聖公会が大切にしてきたもの』(教文館、2016年)などがある。キリスト教学校教育同盟理事長(2018年〜現在)、世界教会協議会(WCC)中央委員(2006年〜現在)、日本基督教学会(専務理事2010年〜2014年)を務め、日本を代表する神学者の一人である。NHKの連続テレビ小説『エール』の考証も担当した。

2024年に創立150周年を迎える立教大学の「建学の精神」を再確認しつつ、創造的変革のために全学を率いる牽引者としての働きが期待されている。

大島 正克(おおしま まさかつ)

亜細亜大学学長。'81早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(商学)。博士論文「中国企業会計の研究」。'18より現職。専門は管理会計、国際会計。

池田 明史(いけだ あきふみ)

東洋英和女学院大学学長。'80東北大学法学部卒業。'14より現職。編著『イスラエル国家の諸問題』(アジア経済研究所)、共著『中東政治学』(有斐閣)など。

加藤 映子(かとう えいこ)

大阪女学院大学・短期大学学長。'03ハーバード大学教育大学院博士課程修了。Ph.D.取得。主著『ハーバードで学んだ最高の読み聞かせ』(かんき出版)。

藤原 三枝子(ふじわら みえこ)

甲南大学国際言語文化センター教授。南山大学人間文化研究科博士後期課程修了。博士(言語科学)。在日ドイツ連邦共和国外務省関連機関を経て、'98より甲南大学。

三谷 裕美(みたに ひろみ)

獨協大学法学部法律学科准教授。イリノ

イ大学大学院人類学部修士課程修了。ニューヨーク大学教育・コミュニケーション・言語科学学部教育応用言語学博士課程単位取得退学。'16より現職。

川口 恵子(かわぐち けいこ)

芝浦工業大学工学部教授。'62 Teachers College, Columbia University Ed.M. (TESOL)。'05より芝浦工業大学。研究テーマ・英語学術論文のテキスト分析。

山田 健太(やまだ けんた)

専修大学文学部(ジャーナリズム学科)教授。'84青山学院大学卒。専門は言論法、ジャーナリズム研究。近著『沖繩報道』『愚かな風』『放送法と権力』。

児浦 良裕(こら よしひろ)

聖学院中学校・高等学校教諭、広報部長、21教育企画部長、国際部長。'98東京理科大学理学部卒業。(株)ベネッセコーポレーションを経て、'14より現職。共著『ワークショップのアイデア帳』など。

杉田 一真(すぎた かずま)

産業能率大学経営学部教授、学長補佐、教育支援センター長。'14文部科学省「大学教育再生加速プログラム」事業推進責任者。

一般選抜「未来構想方式」作問主務者。

高本 優一(たかもと ゆういち)

追手門学院大学教務部次長兼教学企画課長。

安成 英樹(やすなり ひでき)

お茶の水女子大学文教育学部教授。東京大学大学院博士課程中退、同文学部助手、お茶の水女子大学助教を経て、'13より現職。元入試推進室長('14-'19)。専門は西洋史学。

山本 茂(やまもと しげる)

金沢大学学長補佐(学生募集・高大接続担当)。同高大接続コア・センター副センター長。同フロンティア工学系教授。'96大阪大学博士(工学)取得。

加藤 建一(かとう けんじ)

学校法人東洋大学理事・入試部長。'87東洋大学入職。教務部、入試部、総務部などを経て、'13より入試部長。'12より東洋大学評議員、'14より東洋大学理事を務める。

小野 興子(おの きょうこ)

学校法人山梨英和学院理事長。山梨大学大学院教育学研究科修了。山梨県立看護

短期大学部長、山梨県立大学特任教授などを経て、'20より現職。

三浦 英俊(みづら ひでとし)

南山大学理工学部教授。博士(都市・地域計画)。'213月までFD委員会委員長。

岩瀬 峰代(いわせ みねよ)

島根大学大学教育センター准教授。'03総合研究大学院大学先端科学研究科生命体科学専攻修了。博士(理学)。同大学院大学全学事業推進室室長を経て、'14より現職(FD担当)。

新原 将義(しんはら まさよし)

帝京大学高等教育開発センター講師。'16筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻修了。博士(心理学)。徳島大学を経て、'18より帝京大学。

岩崎 千晶(いわさき ちあき)

関西大学教育推進部准教授。関西大学大学院総合情報学研究科博士課程修了。博士(情報学)。主著『大学生の学びを育む学習環境のデザイン』(関西大学出版部)。

新井 一(あらい はじめ)

順天堂大学学長。'79順天堂大学医学部卒

業。同大学医学部脳神経外科教授、同大学医学部附属順天堂医院院長、同大学大学院医学研究科長・医学部長を経て'16より現職。

兵頭 知(ひょうとう さとし)

日本大学理工学部交通システム工学科助教。'16愛媛大学大学院理工学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(工学)。日本大学助手を経て、'18より現職。

北村 行伸(きたむら ゆきのぶ)

立正大学データサイエンス学部学部長。オックスフォード大学大学院修了、D.Phil.(経済学)、一橋大学教授を経て、'214月より現職。主著『パネルデータ分析』など。

丸橋 珠樹(まるはし たまき)

武蔵大学人文学部教授。京都大学大学院理学研究科動物学専攻(理学博士)。若い頃はアフリカの熱帯林で霊長類を、現在はタイでベニガオザルを研究中。

市野澤 潤平(いちのさわ じゅんぺい)

宮城学院女子大学現代ビジネス学部教授。'10東京大学大学院総合文化研究科単位取得退学。共編著に『リスクの人類学』、『観光人類学のフィールドワーク』など。

水野 晶夫(みずの あきお)

名古屋学院大学現代社会学部教授。'92名古屋学院大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。修士(経済学)。'15より現職。専門は地域政策論。

倉橋 香衣(くらはし かえ)

文教大学卒業。トランポリンの事故で頸髄を損傷し、'15に車いすラグビーを始め、日本代表に選出。'18シドニーで行われた世界選手権で日本の初優勝に貢献。

外川 智恵(とがわち え)

大正大学表現学部准教授。大正大学文学部卒。カリフォルニア臨床心理大学院修士課程修了。'92山梨放送入社。「NIT技術ジャーナル」のトップインタビューなどを務める。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

会長の動き

- 3月9日(火)
第10回常務理事会・役員選考委員会に出席(ハイブリッド開催)
- 3月31日(水)
第10回理事会、第3回総会に出席(ハイブリッド開催)
- 4月19日(月)
経団連「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」に出席(ハイブリッド開催)
- 4月20日(火)
第1回常務理事会、第1回理事会に出席(ハイブリッド開催)

理工系分野におけるオンライン教育への取り組みと課題

理工系分野の教育研究推進プロジェクトでは、コロナ禍における理工系分野のオンライン教育に関わり、加盟大学での取り組みと課題をまとめました。

「会員法人における「自律性の向上」に向けた取り組みの進捗状況に関するアンケート」の結果について

経営委員会大学ガバナンス検討分科会は、2019年に策定した「日本私立大学

連盟 私立大学ガバナンス・コード」の会員法人における周知及び浸透の状況を把握するため、「会員法人における『自律性の向上』に向けた取り組みの進捗状況に関するアンケート」を実施し、その結果をとりまとめました。

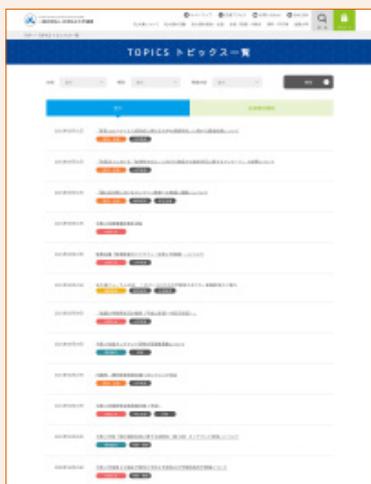
「新型コロナウイルス感染症に関わる大学の情報発信」に関する調査結果について

経営委員会情報公開検討分科会では、コロナ禍における加盟大学の情報発信に関わり、調査結果をとりまとめました。

▼各資料は、下記の私大連Webサイトをご覧ください。

<https://www.shidairen.or.jp/>

私大連Webサイトにて
各種活動に関する情報を公開



座談会 「キャンパスライフとは何か」

特集 「コロナ禍における入試実施」

小特集 「オンライン留学の課題と可能性」

だいがくのたから 四日市看護医療大学 **大学点描** 敬和学園大学

クローズアップ・インタビュー 秋山正子さん(看護師、認定NPO法人マギーズ東京共同代表)

編集後記

◆コロナ禍にあつて、2021年度入試は例年はない対応を求められ続けた。各大学は何とか公正な入試を実施し、入学生を迎え入れようと苦慮した1年であつたと思う。一方で、このような状況であつても一足先に学習指導要領の改訂が実施される中学校・高等学校では入試改革が進められている。

今回の特集では、各大学や中学校・高等学校がどのような狙いをもつてどのような方法で入学者選抜を行っているのか、ということをご紹介いただいた。いずれの入試もいわゆる教科の筆記試験のみではなく、さまざまな方法により受験生を多面的に評価しようと取り組まれている。実施、評価ともに時間も人手も必要とする入試だけに、求める人材を獲得したい各大学の強い思いを感じた。

この特集が、これからの入試がどの方向に向かつていくのかということとを考えるための好事例となればと思う。(広報・情報委員会大学時報分科会前委員・関西学院大学入学センター入試課長 永野誠)

◆小特集「学生の授業評価―活用と実践―」では、授業の改善に向けて従来の「教える側」、「学ぶ側」の立場を超えた斬新な取り組みが紹介された。あらためて「学生目線」を授業に取り入れていくことの大切さと難しさを感じる。昨今、いわゆる「アクティブラーニング」を通じて、学修者自身が探求心を持って情報収集や分析を行い、課題の発見・解決を試みる等、主体的な学修姿勢が求められているが、授業評価にも同様に主体的な姿勢が求められるのだろう。一方、学修者としての成長や気づきのきっかけは、知識を得ることが中心の授業や、授業外の大学生活の多様な場面にもあり、そのような幅広い環境作りが大学の重要な役割の一つなのではないかということも再認識した。また、社

会に出てからもそうだが、自分の成長や新たな気づきは学んでいる間だけでなく、少し時間が経ってから振り返ってみて分かることも多い。その意味で、卒業生への調査や分析も今後の勘所になるのではないかと感じた。

(広報・情報委員会大学時報分科会委員・上智大学総務局SGU事業推進室長 中山映)

◆コロナ禍の生活も約1年が経過した。今でもさまざまな制約があることに変わりはないが、マスクが欧米ではあまりなじみがない習慣だと知ったのもちょうど1年前のことだ。

座談会では、この1年間のオンライン授業について語学教育という側面から取り上げた。否応なしに始まったオンライン授業だが、新たな発見と発想の転換、語学教育の原点を問い直す得難い時間・経験となり、語学とAIという話題にまで広がりを見せたことは興味深い。

クローズアップ・インタビューでは、車いすラグビー選手…倉橋香衣さんのお話を伺った。学生時代の大きなけがから生活が一変、ポジティブにチャレンジを続ける中で、障がいの有無にかかわらず皆それぞれに「違う」ことに、パラスポーツを楽しみながら気付いてほしいと語る倉橋さん。

語学とパラスポーツという思いがけないリアリティーから、互いの文化と違いを理解することに思いを巡らせるきっかけになればと思う。(日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美)

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (125大学 令和3年5月20日現在)

愛知大学
亜細亜大学
青山学院大学
跡見学園女子大学
梅花女子大学
文教大学
筑紫女学園大学
中央大学
中央大学
大東文化大学
獨協大学 }
獨協医科大学 }
姫路獨協大学 }
同志社大学 }
同志社女子大学 }
フェリス学院大学
福岡大学
福岡女学院大学 }
福岡女学院看護大学 }
学習院大学 }
学習院女子大学 }
白鷗大学
阪南大学
広島女学院大学
広島修道大学
法政大学
兵庫医科大学 }
兵庫医療大学 }
実践女子大学
上智大学
城西大学 }
城西国際大学 }
順天堂大学

金沢星稜大学
関西大学
関西学院大学
関西学院大学
関西学院大学
慶應義塾大学
恵泉女学園大学
敬和学園大学
神戸女学院大学
神戸海星女子学院大学
皇學館大学
國學院大学
国際武道大学
国際基督教大学
駒澤大学
甲南大学
久留米大学
共立女子大学
京都産業大学
京都精華大学
京都橘大学
九州産業大学
松山大学
松山東雲女子大学
明治大学
明治学院大学
宮城学院女子大学
桃山学院大学 }
桃山学院教育大学 }
武蔵大学
武蔵野大学
武蔵野美術大学
名古屋学院大学

南山大学
日本大学
日本女子大学
ノートルダム清心女子大学
大阪学院大学
大阪医科薬科大学
大阪女学院大学
大谷大学
追手門学院大学
立教大学
立正大学
立命館大学 }
立命館アジア太平洋大学 }
龍谷大学
流通科学大学
流通経済大学
西武文理大学
聖学院大学
成城大学
聖カタリナ大学
成蹊大学
西南学院大学
聖路加国際大学
清泉女子大学
聖心女子大学
専修大学 }
石巻専修大学 }
芝浦工業大学
白百合女子大学 }
仙台白百合女子大学 }
昭和女子大学
創価大学
園田学園女子大学

大正大学
拓殖大学
天理大学
東邦大学
東北学院大学
東北公益文科大学
東海大学
常磐大学
東京医療保健大学
東京女子大学
東京女子医科大学
東京経済大学
東京国際大学
東京農業大学 }
東京情報大学 }
東京歯科大学
東洋大学
東洋英和女学院大学
東洋学園大学
豊田工業大学
津田塾大学
和光大学
早稲田大学
山梨英和大学
四日市大学 }
四日市看護医療大学 }

大学時報

University Current Review

2021/5月号

第69巻398号(通巻411号)

令和3年5月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 植木朝子(同志社大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル3階
〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9
KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)
小島隆久(同志社女子大学広報部広報室長)
藤智徳(法政大学多摩事務課主任)
中山映(上智大学総務局SGU事業推進室長)
依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)
永野誠(関西学院大学高大接続センター入試課長)
横川修(関西学院大学広報室課長)
田上雅徳(慶應義塾大学法学部教授)
江津英昭(明治大学経営企画部広報課長)
兼高聖雄(日本大学芸術学部教授)
長野香(立教学院広報室長)
青柳祐(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学魅力化推進部長)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
鈴木宏隆(早稲田大学広報室長)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
水田悠平(日本私立大学連盟事務局)
太田祐輔(日本私立大学連盟事務局)

